

こうげ 61 議会

2021.2



令和2年 第4回 定例会(12月議会)

会期：令和2年11月30日(月)～12月11日(金)

●令和2年度 一般会計補正予算等	7814万円追加!	2
スマート農業推進強化事業費補助金・自治公民館等クリーン空間確保事業費などの補正予算		
●委員会報告(文教厚生常任委員会・総務産業建設常任委員会・予算決算常任委員会)		4
●議案議決結果及び議員別賛否一覧表		6
一般質問	ここが聞きたい! 8人登壇	7
報告	町村議会広報研修会・文教厚生常任委員会視察	15
●住民登場コーナー・議会傍聴のご案内・編集後記		16

住民登場コーナー

宮司 松尾 順一さん(下田井、新谷)

Q 宮司になってどれくらいになりますか?

A 友枝に帰ってきて16年。55歳で父の後を継ぎ、宮司になって15年になります。

Q 上毛町で何社の祭事を務められているのですか?

A 東上の八社神社、西友枝の八社神社と松尾山の三社神社、土佐井の貴船神社の4社を担当しています。また、昔からの地域のお宮が6社あり旧友枝村を中心に合計10社です。

Q 後を継がれた15年前と比べ、地域の雰囲気は変わりましたか?

A 大きくは変わっていませんが、宗教と伝統行事のはざまで年配の方と若い方で神社の捉え方や関わり方は変わってきたと思います。昔は生活の傍らに神社がありましたが、若い方はお祭りやお正月などを通じてしかお宮と接する機会がなくなってきました。

Q お祭りが地域コミュニティを作る役割を果たしているとも思いますが。

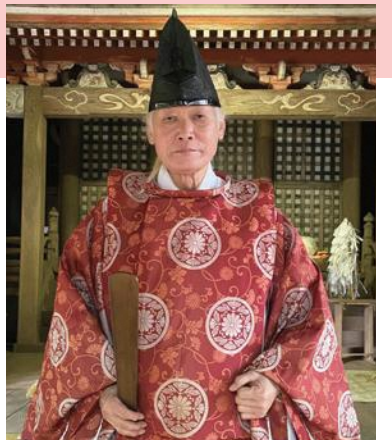
A どんど焼きやお祭りが、地域の皆さんが集まる大切な機会になっていると思います。

Q 新型コロナウイルスの影響で祭事も様変わりしたと思いますが。

A スペイン風邪が100年以上前ですので、本当に誰もが体験したことのない疫病ですが、日本はなんとか頑張っていると思います。しかしながら、春の御神幸や秋のお神楽などのお宮行事が中止や小規模での開催になり、地域の皆さんが集まる機会が失われたのはとても残念に思います。

Q これからこういった取り組みが必要でしょうか。

A コロナが終わった後、以前のように持ち直すのかどうかは「やろう!」と声を上げる人がいるかどうかのポイントだと思います。地域の人の「気」を高めることがないと自然の流れだけでは衰退していきますので、そうした雰囲気を払拭するきっかけが必要だと思っています。



上毛町成人式によせて

三田 敏和

今年の成人式はコロナ禍の中、当事者、主催者にとっても考えさせられる緊張感のある成人式ではなかったでしょうか。フィジカル・ディスタンシング(身体的距離の確保)を守りながらの成人式、新成人83人中52人が出席しました。毎年新成人が帰省するこの時期に合わせ、一足早く実施している上毛町、保護者からも「今年はやらないのではと心配していましたが、できて嬉しいです」と感謝していました。今年はマスクを着用し距離を取るなど、新型コロナウイルス感染症対策をして実施されました。これも懐かしい思い出になることを期待しています。



議会傍聴のご案内

3月定例会の予定

3月2日(火)午前10時
本会議(開会、議案の説明・質疑)

3月4日(木)午前10時
本会議(一般質問)

3月12日(金)午前10時
本会議(討論・採決)

日程については変更になる場合があります。会期日程は、町長招集告示の後、2月26日開催予定の議会運営委員会にて協議され、定例会初日の本会議で決定されますので、詳しい内容については、議会事務局までお問い合わせください。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴席を18席とすることや入場時の検温などにご理解ご協力をお願いします。

■開催場所 たいへいの里(大平支所)2F議場

編集後記

廣崎 誠治

感染症の一日も早い収束を

私が選んだ2020年の重大ニュースは、前法務大臣・政治家夫婦の公職選挙法違反逮捕、九州豪雨、安倍首相の退陣と菅首相誕生、桜を見る会問題、アメリカ大統領選挙、ソフトバンク4年連続日本一とありましたが、何といっても国民の健康・生活に影響を与えている新型コロナウイルス感染症が一番だと思います。

この記事を書いている12月末時点では、GoToキャンペーンの失敗か、人の流れが止まらず感染者が急増しています。経済に詳しい友人の話によると、このままの状態が続けば、年明けには人の移動により成り立っている観光業などの業種は、かなり厳しい状況になると言っています。何とか早くワクチンが接種できるようになって、この感染症が一日も早く収束することを願うばかりです。

■議会広報特別委員会

委員長：三田 敏和 副委員長：岩花 寛之

委員：荒牧 弘敏、廣崎 誠治、田中 唯登志、友岡 みどり、高西 正人



Pick up! コロナ対策

南吉富小学校教室改修費など

令和3年度新入学児童予定者数が46名(定数35名)となる見込みで、1学級増の改修及び備品購入費(教室(図書室)に改修、給食備品・机等の購入)

※関連記事をP5に掲載



教室へ改修予定の図書室

471万円

集会所などに空気清浄機設置 (自治公民館等クリーン空間確保事業)

コロナ対策

新型コロナウイルス感染拡大症防止対策として、自治公民館及び集会所45ヵ所に空気清浄機を設置する。

※関連記事をP5に掲載



設置予定のシャープKI-NP100
写真提供:㈱シャープ

667万円

同意

教育委員会委員の任命(再任)

上毛町教育委員会委員としての任期が満了することに伴い、任期は令和2年12月から4年間。

小宮 光則氏 67歳



大平支所Wi-Fi工事

コロナ対策

新型コロナウイルス感染拡大症防止対策として、大平支所におけるリモート会議用Wi-Fi環境整備工事。

※関連記事をP5に掲載

250万円

条例・規約(主なもの)

上毛町議会議員の期末手当改定

令和2年人事院勧告に伴い期末手当減額。 △0.05か月

問 今回の人事院勧告と議員報酬の関係は。

答 人事院勧告が直に影響することはない。本町の独自策。

上毛町常勤特別職の期末手当改定

令和2年人事院勧告に伴い期末手当減額。
町長、副町長、教育長 △0.05か月

上毛町一般職の期末手当改定

令和2年人事院勧告に伴い期末手当減額。
△0.05か月

問 0.05か月であれば町全体の減額はいくらかになるか。

答 166万円の減額となる。

し尿処理場の負担割合変更

吉富町と共同で処理しているし尿処理経費を2割平等割・8割人口割から2割平等割・8割搬入割に変更。令和3年4月1日より施行

※関連記事をP4に掲載



築40年を超える吉富町と共同処理しているし尿処理施設(吉富町)

12月議会では、同意1件、専決処分の承認2件、条例改正6件、補正予算など3件を審議し、いずれも可決しました。

※賛否をP6に掲載

手厚く!

補正予算等(専決処分を含む)
7814万円追加

令和2年第4回定例会(12月議会)は、11月30日(月)から12月11日(金)までの12日間の会期で開催しました。人事院勧告に伴う期末手当減額などの条例案、教育委員会委員の同意案件、携帯型空気清浄カードを全町民へ配布するなどの専決処分、新型コロナウイルス感染症防止の新たな追加支援策などの一般会計補正予算を慎重に審議を行いました。

専決処分

携帯型空気清浄カードを全町民に配布

コロナ対策

新しい生活様式に基づく行動に加え、カードを携帯することで健康被害リスクの軽減に繋げるため購入(随意契約)
相手先:中津クリーンサービス



みんなで携帯しよう。
空気清浄カード

3325万円

問 専決処分にした理由は。

答 対象物品の早急な確保により早く住民へ配布するため。

契約の締結

タブレット端末の購入契約

町立小中学校児童生徒全員にタブレット端末を導入するための物品購入契約締結(随意契約)
相手先:株式会社オフィスワタナベ
購入数:582台



既に導入しているタブレットでの授業(Excel)風景
(唐原小6年)

3341万円

問 学習内容はどのようなものか

答 Word、Excelなどの汎用ソフトや教育ソフトを活用したグループ学習、調べ物学習、動画作成などを想定している。

補正予算(主なもの)

南吉富放課後児童クラブ準備費

令和3年4月からスタートする南吉富放課後児童クラブ館の運営準備に係る物品などの購入、設置するための費用。

※関連記事をP5に掲載



4月開館が待ち遠しい
南吉富放課後児童クラブ館

230万円

県新規独自事業

スマート農業補助金 (スマート農業推進強化事業費補助金)

コロナ対策

新型コロナウイルス対応として作業員の削減、作業員間の密接回避を目的にロボットトラクター等農業機械導入補助金(1/2以内)
ロボットトラクター2台、ロボット田植機2台、農業用ドローン1台

※関連記事をP5に掲載



効率化も期待できる農業機械
写真提供:㈱クボタ

1272万円

赤ちゃん祝金追加

令和元年中に出産し、令和2年度に申請した7名分及び第3子以降の出産が予想より多かったための追加。

第1子50,000円、第2子70,000円、第3子以降100,000円

※関連記事をP5に掲載



すくすく育ってほしい。
町からのお祝い金

41万円

県新規独自事業

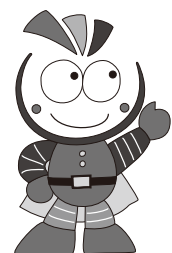
機構集積協力金 (規模拡大支援金)

交付対象者は新たに農地を借り受ける担い手。交付単価は平坦地15000円/反、中山間地18000円/反(農地中間管理権が6年以上設定している農地)全額県の補助金



集積が予定されている東上地区の圃場

87万円



文教厚生 常任委員会

し尿処理負担金

人口割から搬入割に

▼し尿処理場の自治体負担額(議案68号)
規約改正

概要■吉富町は下水道で処理する世帯があるため、次年度から人口割ではなく搬入割に変更する規約の改正。

図 改正後、本町の経費負担は。

答 令和元年度の搬入量比は吉富町38.5%、上毛町61.5%であり差が大きすぎるため、し尿については搬入量に見合った金額にする。吉富町から搬入割合に変えてもらいたい旨の要望があり、合意に至った。

▼町営住宅延滞金・滞納金(議案65号)
条例改正

概要■「上毛町諸収入金督促手数料及び延滞金徴収並びに滞納処分執行条例」に準じるように改正。

図 収納率と滞納率は。

答 令和元年度の収納率は94.55%、

滞納率は5.45%となっている。
(全会一致で可決)

▼重度障がい者医療(議案66号)
条例改正

概要■県の子ども医療の支給対象上限が中学3年生までに拡充することによる改正。上毛町の支給対象は県の拡充後の制度よりさらに充実しており、本町の子ども医療の改正は必要ないが、重度障がい者の所得制限や自己負担などの枠組みの変更を県が行ったことによる改正。

図 上毛町の負担減はどれくらいの試算になるか。

答 県の試算では子ども医療費として約100万円の負担減となる。

(全会一致で可決)



総務産業建設 常任委員会

不利益とならない

国保税を

▼国民健康保険税改正(議案64号)
条例改正

概要■平成30年度税制改正において、給与所得控除と公的年金控除が一律10万円引き下げられているが、国民健康保険税においても軽減判定基準を見直し、不利益とならない措置を講じる改正。

図 給与所得控除が65万円から55万円になれば所得増となるので、その救済の為に10万円基礎控除が引き上げになったということか。

答 そのとおりである。これまでの軽減対象の方が不利益とならないように軽減判定基準を見直している。

図 不利益はないということか。

答 不利益はない。逆に営業所得者のみの方など、給与所得や年金所得のない方については、単純に軽減基準が拡大することとなり軽減が受けやすくなる。



図 給与と所得者が国保税に反映することがあるのか。

答 国保加入者の中にも給与所得者の方はいる。また、世帯主が社会保険加入者の場合は、国保加入者でなくとも擬制世帯主として世帯の所得に合算して軽減判定を行う。

(全会一致で可決)

予算決算 常任委員会

約4500万円の 補正予算を可決

▼令和2年度補正予算第9号(議案67号)

概要■令和2年度予算に4489万円追加し、総額68億8991万円とする補正予算。

■総括説明に対する質疑

図 地方交付税は21億円で確定か。

答 現在の決定額は、20億3605万円であり、12月と3月の特別交付税はまだ確定していない。

■リモート会議用Wi-Fi環境整備

図 大平支所の使用可能場所は。

答 2階は議場・中小会議室・議会事務局執務室・議員控室。1階は執務室と和室となる。

図 リモート会議用と災害用のWi-Fiの違いは。

答 災害用は1階フロアとロビー部分、今回は和室が追加になる。

図 委員会室は入らないのか。また同時接続可能台数は。

答 委員会室は予定していない。同時接続は40台が可能である。

図 委員会室を入れなかった理由は。

答 議会機能を低下させない上で必要最小限の改修を検討し、中小会議室で代用が可能と判断した。

■南吉富放課後児童クラブ

図 使用している物品があるが更に不足分があるということか。

答 南吉富の高学年分を新たに購入する予定。

■赤ちゃん祝金

図 近年の出生数は。

答 令和2年は4月から10月までが20名。11月以降20人を予定している。令和元年度は32名。

図 子どもが生まれた時は居住要件を満たしていなくても、1年経てば申請できるのか。また会計年度をまたがって問題はないか。

答 居住が1年経てば申請でき、会計年度は問題ない。

■スマート農業補助金

図 ロボットトラクターと田植え機の購入補助と説明があったが内容は。

答 直進アシスト機能が付いたトラクターや田植え機で疲労軽減、作業効率の向上、人手不足の解消を見込んでいる。

図 補助した後の効果に対する報告内容は。

答 国・県も3年間、追跡調査で作業内容等の報告を受けている。

図 農業用ドローンの性能は。

答 農業散布に使用でき、10リッター搭載、1回に1ヘクタールの散布が可能。

■南吉富小学校教室改修費

図 図書室を教室に改修すると説明があったが内容は。

答 図書室を教室に改修し、現児童クラブを図書室に改修する。

図 当初予算で計上できなかった理由は。

答 令和3年度に人数が増えるというのは予想されていたが、新児童クラブ館の工事の目途が立たなければ図書館を移すという計画が出来ず、協議にも時間を要したため、今回の補正で計上した。

■健康増進施設(東下)水銀灯交換

図 照明器具以外にも補修が必要な箇所があると思うが新体育館が完成するまでの補修対応は。

答 新しい体育館完成後に解体予定であるため、指定管理者と協議しながら必要最低限の補修をしていく。

■公民館等への空気清浄機設置

図 全国的に品薄の状況が続くが確保の見込みは。

答 年度内に設置が出来るよう確保を見込んでいる。

図 集会所は含まれるか。

答 45力所を予定しており、集会所も含まれる。

■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

図 医療関係や福祉施設で働く人たちの慰労金などは検討できないか。

答 施設に対する補助金等では今に対応しており、従事者に対しての慰労金としては現時点では考えていない。

一般質問
ここが聞きたい!

「一般質問」とは

町の行財政全般にわたって、執行機関(町政)に対し、一般事務や将来の方針などについて質問し、所信を求めることです。町民の生活に関わる身近なことが、議員の一般質問により、改善されたり新たな事業が始まったこともあります。

議員は年4回の定例会で一般質問をすることができ、定例会開会前にあらかじめ質問内容を提出し、執行機関が答弁を考えます。質問する議員一人につき60分の持ち時間があり、その時間内であれば何回でも質問を繰り返すことができます。

全文詳細はHPに後日会議録として掲載されますのでご覧ください。

第4回定例会一般質問(12月3日(木)・4日(金))

荒牧 弘敏 議員

コモンパーク彩葉の販売状況は

堀企画情報課長

77区画整備、65区画販売

分譲中のコモンパーク彩葉



ゴミステーション(宇野地区)



図 今後の販売方法は。
堀企画情報課長 今まで通り毎年ハウスメーカーと販売代理業務、業務委託契約を締結して行つた。近年、契約先のハウスメーカーも減少し思うように分譲が進んでいないため、再度声かけをして推進している。

図 空き分譲地の利用方法は。
堀課長 建築協定など様々な制限があるため、テナントなどの活用についてはコモンパーク彩葉の住民の意見を聞きながら進めていきたいと考えている。

図 自治会の方向付けは。
堀課長 現在、宇野東区自治会に加入しており、全体では164世帯で町内41自治会の中で最も大きな自治会となっている。今後、地元自治会の意見を聞きながら調整したい。

図 各袋の価格、規格、分別方法は。(豊前市、吉富町についても)
堀課長 垂直水勇治住民課長 各袋の価格は、可燃ごみ大、小、ミニの3種類、ビン大、小の2種類、ペットボトルである。吉富町・上毛町は同様で、豊前市は可燃ごみだけで大、小、ミニの3種類となっている。規格は容量・厚みについては、ほぼ同じであるが、価格については1市2町バラバラである。分別方法については、吉富町と上毛町は同様であるが、豊前市では缶・ペットボトルは透明の袋に混入しても良いことになっている。

図 1市2町の清掃施設組合であるので、同一の種類・規格・価格・分別方法での取り扱いと1市2

図 農耕用トラクターに関する道路運送車両法の見直しが行われたと思うが、農業者への対応は。
堀入課長 農業委員会、農業関連組織などで周知徹底を図る。

図 過去にないトビイロウンカの被害と思うが、どのように捉えているか。
堀入課長 過去にない大発生と捉えており、令和3年産米については、関係機関と連携して情報を早期に共有し農業者への対応を図る。

図 令和2年産米の作況指数と反収は。
堀入産業振興課長 作況指数が81で、反収は411kgとなっている。

図 町内どこでも購入できるようにできないか。
坪根町長 統一できるよう今後、十分協議・精査していきたい。

農業振興について

令和2年第4回定例会
議案議決結果及び議員別賛否一覧表

※議長は採決に加わらない。○は賛成、×は反対、欠は欠席、退は退席

第68号	第67号	第66号	第65号	第64号	第63号	第62号	第61号	第60号	第59号	第58号	第3号	議案名
吉富町外1町環境衛生事務組合規約の変更について	令和2年度上毛町一般会計補正予算(第9号) ●反対討論(安元) 期末手当の引き下げに伴う議員報酬の引き下げは、報酬審議会に諮問し、審議され、答申に出るものであり、大して内容の議論もなく原案可決されたことは理不尽であると考えられるため。 (茂呂) マイナンバーカードのシステムは、十分なセキュリティが確立しておらず情報漏れのリスクが高いことや戸籍附票システム改修業務は国の委任事務であり、国が全額負担すべきであると考えられるため。 (岩花) 他の自治体に先んじた安全・安心予防的措置としての携帯型空気清浄カードの購入や小中学校・行政のデジタル化、農業振興などウイズコロナに即した具体的な予算に理解できるため。 議案第63号には反対したが、可決されており、関連する予算についても反対することは議会の議決を軽視するものであると考えるため。	上毛町重度障害者医療の支給に関する条例の一部を改正する条例について	上毛町営住宅条例の一部を改正する条例について	上毛町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	上毛町一般職の職員に関する条例等の一部を改正する条例について	上毛町特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例について	上毛町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	物品購入契約の締結について(町立小中学校タブレット端末等導入事業)	専決処分の承認を求めることについて(携帯型空気清浄カード購入事業物品購入契約)	●賛成討論(安元) 携帯型空気清浄カードの購入は、専決処分の基準に適合せず、カードの効果が明示されていないため。 (三田) 町民に対する新しい生活様式のメッセージとして、やむをえないものとの判断するため。	上毛町教育委員会委員の任命について	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高西 正人
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	友岡みどり
○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	岩花 寛之
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	田中唯登志
○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	廣崎 誠治
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	宮本理一郎
○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	峯 新一
○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	三田 敏和
○	×	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	安元 慶彦
○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	茂呂 孝志
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	荒牧 弘敏
可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	承認	承認	同意	

※討論の内容は、反対討論に対し、賛成討論が行われた場合のみ掲載しています。



三田 敏和 議員

農業者の高齢化の対応は

円入産業振興課長

新規就農者増が喫緊の課題

図今年2月に農林業センサス(国)が5年ごとに行う農林業の実態調査が実施されたが、上毛町の農業の実態が分かるか。

円入産業振興課長 11月末、全国の概数値が公表された。農業は1・9%の減少、林業は61・2%の減少となっている。上毛町も同じように減少はしていると推察する。

図認定農業者などによる集積が進んでいるのか。

円入課長 人・農地プランに基づく担い手が集積する面積は令和元年度で70・8%と高い。集積はか

図所得を上げるため農家の経営体系は。

円入課長 上毛町は、米・麦・大豆の土地利用型農業が多いが、近年、冬レタスなど野菜に力を入れる農家が増えている。

図第2次上毛町総合計画に新規就農者の目標を平成38年度10名とあるが実績は。

円入課長 平成27年2名、28年2名、29年以降は0が続いている。農林と一緒に相談会などを定期的にやっているが難しい。今後は親元就農、集落営農組織へのオペレーターでの参加後の就農を考えている。

図県、JA、関係機関などに向けて更に発信をすべきではないか。

図6次産業化支援として、付加価値の高い加工品開発など、農村地域の雇用の確保と農業者の所得向上を目指すところがある成果は。

円入課長 ブランド化として、川底柿の干し柿を福岡市の岩田屋で販売しており、レモンを使った加工品を中津市の企業と開発中である。

図農山村が持つ豊かな自然、食及び観光などの地域資源を活用したグリーンツーリズムの推進の事例は。

6次産業化とブランド化

図この支援制度の上毛町での活用は。

円入課長 今年度の予算で2名の方に対応している。

図新規就農者に対する支援はどのようなになっているか、魅力あるものか。

円入課長 国の制度で、農業次世代人材投資事業で、49歳以下の方に、就農準備や経営確立を支援する資金(年間150万円、最長5年間)の支援制度があり、普及支援センター、農協、産業振興課で指導している。

図今年度は、農村の消費拡大を推進するため、町内の飲食店や学校給食におけるさらなる利用促進を図るところがある成果は。

円入課長 学校給食の米は、全量町内産を地元米穀店と契約をしている。野菜も、道の駅やさわやか市から地元産の提供を行っている。町内産でない県内産の割合は20%程度である。

図スマート農業、デジタル技術の活用推進とあるが成果は。

円入課長 スマート農業については、今議会の補正予算で計上している。今後は、ドローンの活用を推進したい。

図今年はウンカが非常に発生し、打撃を受けた。農業経営の安定化に向けた取組として、青色申告を行ない収入保険に加入すること

消費拡大とスマート農業

図町内農産物の消費拡大を推進するため、町内の飲食店や学校給食におけるさらなる利用促進を図るところがある成果は。

円入課長 学校給食の米は、全量町内産を地元米穀店と契約をしている。野菜も、道の駅やさわやか市から地元産の提供を行っている。町内産でない県内産の割合は20%程度である。

図スマート農業、デジタル技術の活用推進とあるが成果は。

円入課長 スマート農業については、今議会の補正予算で計上している。今後は、ドローンの活用を推進したい。

図今年はウンカが非常に発生し、打撃を受けた。農業経営の安定化に向けた取組として、青色申告を行ない収入保険に加入すること

図野焼きに関する罰則は。

垂水(勇)課長 5年以下の懲役、1000万円以下の罰金、また、その両方が課せられる。例外規定も定められているが十分な配慮が必要となる。

図農林業でやむを得ず焼却することは例外規定だが、対応は。

円入課長 JAの稲作こよみでは、麦わら、稲わらは焼却せず、全量すき込むよう記載している。集落営農組織や認定農業者の会議で推進している。

図焼却はやむを得ない時もある。時間帯を決めるなどの取組みも必要では。

円入課長 農業委員会や集落営農組織、認定農業者の会で、議題として時間帯などの提案をしたい。

野焼きは違法ではないか

図野焼きのクレームをよく耳にするが、上毛町の現状は。

垂水(勇)課長 今年度は、12件の通報や苦情を受け付けた。直接、住民の方に指導、助言を行っている。

宮本 理一郎 議員

急速なデジタル化への対応は

坪根町長

将来をしっかりと見据え政策を行う



図コロナ禍で新しい生活・ビジネス様式への移行が急務であり、これを定着拡大させるためには、社会全体のデジタル化の実現が必要である。この政府の考え方に對する町の対応は。

永野総務課長 地方自治法の規定による技術的な助言のもと、書面規制、押印原則、対面規制の見直しに取り組む必要がある。現在、行政手続きの洗い出しを行っている。

図国は「脱ハンコ」を実施し、効率的な事務処理を目指すと言っているが、現在、住民に対して、待たせたり、不便をかけている意識や感覚があるか。

永野課長 住民にはそれほど不自由をかけていないと考えている。また、本町の規模を考えると対面での手続きにより、しっかりとした制度内容の説明や相談を受けることができる。

図「脱ハンコ」を進めることになれば、先ずどのような書類や手続きが具体的に対象になるか。

永野課長 先ずは、行政手続きに必要な申請書類などであり、現在、228本ある条例や要綱などの押印の見直しや会計手続や決裁手続の見直しとなると考えている。

図マイナンバーカードを身分証明書と共に、印鑑証明や車の免許証や保険証などの機能を内蔵させ、普及率を向上することにより

利便性の高いカードにしようとする政府の考え方に對する町の対応は。

垂水(勇)住民課長 マイナンバーカードは、オンラインで確実な本人確認を行うことができ、デジタル社会の基盤となるものである。現在、20・2%の普及率であるが、利便性や安全性を周知し交付率の向上に努める。

図住民が行う行政手続きのオンライン化の進捗や町の職員が行う事務処理でのリモートワークやテレワークの実施状況は。

堀企画情報課長 新型コロナウイルス感染症対策関連の特別定額給付金の支給や保育施設などの利用申込み、児童手当や妊娠の届け出などで活用できるようになっている。職員のリモートワークやテレワークについては、現在、在宅勤務の事例はない。県などが行う説明会などでは、リモート会議方式が採用されている。



▲マイナンバーカード(みほん)

教育現場のデジタル化は

図文部科学省に「デジタル化推進本部」が設置され、ICT(情報通信技術)を活用した教育を急速化させる流れをどう考えるか。

道免教育長 本年度から実施されている新学習指導要領においてもICTの積極的な活用が明示されている。社会的、時代的背景を考えると教育現場のデジタル化は避けては通れないと認識している。

図日本は、ICTを活用した教育では経済開発協力機構(OECD)加盟37か国中最下位である。ICTの活用拡大は、ウイズコロナの時代には必要な教育の形であると考えがどう思うか。

道免教育長 日本のICTを活用した教育は、諸外国から大きく遅れていることは事実である。今回、新型コロナウイルス感染症拡大を機にGIGAスクール構想として環境整備を加速させており、豊前市の小学校とのリモートによる交流授業などこれからの教育の新たな可能性を感じたところである。

図学校と保護者との連絡について、文部科学省のデジタル化の具体例として専用フォームやメール



▶タブレットを使つての授業風景(唐原小)

ルなどが提示されているが本町の現状は。

道免教育長 基本的に紙媒体で行っている状況である。オンラインシステムの導入は今後の動向を見ながら考えていきたい。

図町長は、教育のデジタル化をどのように感じているか。

坪根町長 デジタル化は時代の趨勢、世界の潮流である。教育においては、コミュニケーション能力やセキュリティ、教員のスキルアップなど様々な課題があるが、将来をしっかりと見据えて政策を行う必要があると感じている。



田中 唯登志 議員

文化財の今後のあり方は

村上教務課長

文化財保存団体との連携を図る

図 国と県の保存活用施策は。
村上課長 平成31年度に改正文化財保護法が施行され、地域における文化財の計画的な保存・活用の促進や、地方文化財保護行政の推進力の強化を図る内容となっている。福岡県では、各都道府県における文化財の保存・活用の基本的な方向性を明確化し、各種の取組を進めて

図 その他の史跡の保存状況は。
村上課長 他に町指定文化財も21件あるが、古岡巨石塚や百留横穴墓群、山田古墳などは地域住民や保存団体により適切に保存管理されている。また、能満寺古墳や西方古墳なども地元の保存団体によって歴史的意義を後世に伝えるため、看板の設置や草刈など周辺環境整備を行うとともに、見学道の整備や見学会を開催するなど精力的に取り組んでもらっている。

図 国指定史跡の保存状況は。
村上教務課長 上毛町には4つの国指定史跡がある。そのうち穴ヶ葉山古墳は史跡整備が終了しており、現在古墳公園として活用されている。また、大ノ瀬官衛遺跡は花公園として町内外の方々に憩いの場を提供している。友枝瓦窯跡については、雨水漏水の保存修理事業を終了し、現在指定地の追加申請を準備している。唐原山城については、指定地のほぼ全域が民有地であるため、史跡の一部に限り年間数回の草刈を行っている。

図 未指定文化財の今後は。
村上課長 町内に所在する未指定の文化財の中で、指定文化財に成り得る物件として、能満寺古墳や西方古墳が考えられる。両古墳は近隣市町村には存在しない前方後円墳で

図 上毛町としての文化財の保存活用状況は。
村上課長 上毛町としては「文化財保存活用地域計画」の作成も視野に入れ、地元地域住民や各種文化財の保存団体などと、保存・活用についてなお一層連携協力していきたい。

図 町管理道路の総本数は。
尾崎建設課長 町道の認定路線数については、幹線道路1級が8路線、2級が17路線、その他路線が838路線で合計863路線ある。

町内道路の交通安全施設整備は

あり、重要性については十分認識している。教育委員会として今年度中に両古墳の町指定を考え、文化財保護委員会に諮る準備を進めている。今後県指定史跡の申請も行いたいと考えている。



▶カーブミラーの設置（吉岡地区）



▲ボランティアによる古墳の環境整備(金居塚古墳群)

図 今後の対策の手順は。
尾崎課長 路線数が多いことから全てを把握することは困難であるため、地元自治会長から要望により、現場確認の上事業を実施していく。また、教務課が設置している「通学路安全推進協議会」からの要望も参考にしている。

永野総務課長 当課が実施している交通安全施設整備についても、建設課と連携しながら事業を実施している。なお、財源については交通安全対策特別給付金を活用する。

安元 慶彦 議員

町長就任7年間の感想は

坪根町長

志を高くもって努力してきた

図 九州一輝く町の構想は。
坪根町長 基本的に人が輝くこと、その結果、町が輝くということであり、しっかりとした基盤をもって稼ぐ、所得が増加していくことになり人口が増え、町が輝くことになる。人口ビジョン一万人に向けて下準備は整って来た。

図 高速道への期待の度合いは。
坪根町長 予測より多い交通量になっており、本町の顔であり玄関にもあたる大池公園の整備も順調に整いつつある。東九州において上毛が目的地となるように民間の力を活用して様々な事業展開ができるよう期待している。

コロナ禍での財政は

図 コロナ禍による収入への影響は。
堀田税務課長 令和2年度において、影響の出ている税は法人町民税、軽自動車税環境性能割、入湯税である。最も影響があるのは入湯税で50%前後となる見込みであるが、その他については、大きな影響はない。いずれにせよ来年度の

図 来年度予算は大型が予測されるがどうか。
永野課長 令和2年度の当初予算額は54億4600万円、その中から南吉富放課後児童クラブ館建設費などの単年度における臨時経費約10億8700万円を控除すると43億5900万円が基本的な予算額になると考えている。令和3年度に新体育館の建設を計画しているが、2か年の継続事業としているため現段階では大型予算になるとは考えていない。

図 住宅の新築が随所に見受けられるが行政はどのように捉えているか。
堀企画情報課長 令和2年度の定

住宅の建設は



▲新築住宅が並ぶ南吉富地区

住促進奨励金制度は、住宅を新築建替、または購入された方への土地建物の固定資産税相当額を奨励金として交付する制度であるが、その対象件数は26件となっている。令和元年度から2年間で43件の住宅が新築建て替えられたことになる。このことは、転入を推進し、転出を抑えるといった人口動態の社会増に繋がっているものと思っている。民間のハウスメーカーによる分譲地の整備も大きな要因であり、町の一つの政策が上毛町を選んでもらう理由になったと思っている。



▲トビイロウンカで全滅した圃場(宇野地区)

害虫被害の状況は

図 水稲の害虫発生時期が早くなっている要因は。
円入産業振興課長 今年のトビイロウンカ被害が早くなった原因は、普及指導センターの情報ではベトナム北部の冬の気温が高い年は、越冬して生き残る量が増えることやジェット気流の強さなど自然条件によるものが大きいことや飛来源のベトナム北部や中国の稲の栽培品種の変化やウンカの農業に対する抵抗力が強くなってきたことも大きく関わってきている。



廣崎 誠治 議員

土木工事の今後の補修計画は

坪根町長

足りない部分は増額を検討



▶地元で管理するため池（尻高地区）

図 直近5年間、道路維持費も含め、農業土木補助金などの予算額変動は。
 円入課長 250万円が基本だが、今年度は修繕箇所が多く200万円プラスして450万円です。予算計上している。
 尾崎建設課長 道路維持費は、ここ数年、4000万円です。予算計上し

図 ため池の貯水量確保のための泥のしゅんせつなどの要望は。円入産業振興課長 ため池のしゅんせつ要望は、5年間は無い。
 図 町内各池は、かなりたまっている状況だと思ふ。以前、新吉富時代は、全額村の負担で行ったこともあると思ふが考えはあるか。
 円入課長 しゅんせつに関しては、町の単独事業の農業土木事業補助金（8割補助）で要望が上がってくれば、予算の範囲内で対応したい。

図 入札方法はどのように考えているか。一般競争入札か指名競争入札か。
 村上教務課長 従来は、指名競争入札を行ってきたが、今回の体育館建設については、規模の大きい建築工事となるため、適切かつ工期内に竣工させることができる最適な業者を選定する必要があると考えている。今後、同規模の建築工事を行った自治体などの事例を参考に、選定方法を検討したい。

図 この体育館は避難所としても活用すると思うが何人ぐらゐの避難人数を想定しているか。
 永野総務課長 現在想定している収容人数は、体育館で593人、コロナ感染症対応としては196人を想定している。

新型コロナウイルス 拡大防止対策は

図 イオニアカード購入についての対応は。
 永野課長 私が対応し発案した。

図 こうような売り込みは、まず総務課に行くと思うが、コロナに効くという話で来て信用したのか。
 永野課長 コロナに効くというようなことは一言も言っていない。現在どの商品でも言えないと思う。花粉、アレル物質、PM2.5、それからウイルスなどに効果があるという話であった。

図 私は、この類の効果は疑わしいと思うし、気休め程度にしかならないと思う。経産省や厚労省の見

図 今後の感染症防止対策として何か考えているか。
 園田子ども未来課長 町内の小中学校、保育所、放課後児童クラブ等の児童福祉施設、高齢者介護施設、病院、その他主要な施設において、空気清浄機などの備品及び非接触式体温計をはじめ、消毒液やマスクなど消耗品の準備を進めている。各自治会に対しては、今回の補正予算で公民館などへの空気清浄機の設置を予定している。同時に、住民の皆様にはマスクの着用、手指の消毒、身体的距離の確保など、新しい生活様式に基づく行動を徹底していただくよう、引き続き啓発を行っていききたい。



峯 新一 議員

中山間地域の今後のあり方は

堀企画情報課長

住民主体型の組織構成を推進する

大ノ瀬官衙遺跡の活用は
 図 花が咲いている時期と咲いていない時期との道の駅の売り上げは。
 堀企画情報課長 令和元年度から花公園として、新たにヒマワリ、コスモス、マリーゴールドなどの植栽を行っている。平均的に比較して約1.3倍近くの売上げ増となっている。

図 1年間で道の駅が行ったイベントの内容や回数は。
 堀課長 先日、町主催の婚活パーティーを行ったところである。その他については、春と秋に行うイベント、冬の餅つきなどはコロナの影響で中止となっている。
 図 埋蔵文化財としての遺跡の保存は現状でいくのか。
 村上教務課長 例えば、一部を観察できるよう特殊強化ガラスで覆うような方法もあるが、大ノ瀬官衙遺跡のような遺構には有効ではなく現状の土による埋め戻しが最適であると考えられる。

図 どのような遺跡であったか、どれほど大事な遺跡だったのか来客者に伝わらないのでは。
 村上課長 例えば、道の駅の休憩室あたりに大ノ瀬官衙遺跡の写真を大々的に掲示するなどPRして

鳥獣対策の実情は
 図 ここ数年で鹿、イノシシの数がかなり増えていると思うが、年間の捕獲数と内訳は。
 坪根町長 道の駅を事業として、いろいろなブロに見てもらっても成り立たないと言われる。駐車場も狭く商売をするという構えをしていない。今の条件で何ができるのかを考え、検討しているところである。

限界集落の今後は
 図 過疎化が進み、限界集落と言われる地域を町はどのように考えているか。
 堀課長 町の人口推移については、合併時、8500人であった人口が令和2年10月末で7526人、11.5%の減少となっており、中山間地域と言われる大字では30%を超える減少となっている。このような状況の中で上毛町人口ビジョンを策定し2040年人口1万人と定め、移

図 花公園の3年間の管理費は。
 村上課長 以前は、年間平均400万円前後であったが、花公園として平成31年度に着手してからの管理費は年間2671万円であり、3年間の期間限定で行っている。
 図 遺跡跡(道の駅)を商業施設とする考えはないか。
 堀課長 先日、中学生を対象としたワークショップでの上毛町の良

図 河川の点検、整備をすることが鳥獣被害の減少につながると思うが、支障木の伐採をできないか。
 尾崎建設課長 河川の支障木が多い時などは、建設課に要望を出してもらいたい。

図 若い世代を代表する人たちが上毛町を考える部会を作って、そこで策を練り、行動に移すなどの考えはないか。
 堀課長 現在、地域づくり協議会を構成し活動を行っている。今後は、第2次コミュニティ計画の推進のためのワークショップに参加している若い世代の方々にそういった組織に向けた話し合いの場ができることを期待している。行政主導型ではなく住民主体型の組織構成を推進していき

図 若者が成人し、町に残って生活する場合に支援金などの考えはないか。
 坪根町長 私は、やる気のある人、頑張る人を基本的に応援するということが何か考えたいと思っています。

町村議会広報研修会

議会広報特別委員会 委員長 三田 敏和

去る11月16日、福岡県自治会館において、町村議会広報研修会があり、広報委員4名と事務局員で参加しました。今回はコロナ禍の中、午後からの2時間で、今までの半分の規模での開催でした。

講師は、全国広報紙コンクールの審査員の芳野政明先生で、「議会の見える化」として、住民との信頼を築く広報紙であるために各議会、それぞれの広報紙の優れた点や改善点を点検・確認、学びあいながら、更なるステップアップができる「議会広報クリニック」を受講しました。

今回、上毛町からは、住民の皆様にも既にご講読いただいた「議会だより59号」について評価、指摘を受けました。議案や議事、審査結果をコンパクトに伝えるための工夫があるとの評価でした。改善点として、ページの中で強調したいところ、アピールポイントなど優先順を決め、レイアウトでメリハリある紙面をとの指摘がありました。

今後は、他自治体の優れた点を参考に指摘のあった点を改善しながら、住民の皆様にも、議会の具体的な活動を見ていただける親しまれる広報紙を目指して努力して参ります。



文教厚生常任委員会視察

南吉富放課後児童クラブ館完成間近！

文教厚生常任委員会 委員長 岩花 寛之

去る12月22日、文教厚生常任委員会の町内調査として南吉富放課後児童クラブ館新築工事現場の視察を行いました。

本児童クラブ館は近年の南吉富小学校児童の増加と保護者の児童クラブの預かり保育の要望を受け、昨年度実施設計を行い、本年6月より工事着工したものです。建築面積は約170坪の木造平屋建て、総工費は約2億5千万円。低学年、中学年、高学年それぞれの学習スペースと吹抜けの多目的ホールを有し、全国的にも類を見ないデザイン性を重視した建物となっております。動物の巣をイメージした屋上緑化の屋根や滑り台、温かさやさしさをもった柔らかな外壁材など、子どもたちの遊び心と想像力を刺激する建築物となる予定です。

今回の視察は、建物完成前の構造などについて、子どもたちの満足度と携わる職員の皆さんの利便性を考えた設計や施工、維持管理面での工夫がなされているかということを重点に確認しました。

住民の皆さんが長く使われる建物ですので、担当委員会として、見識を深める必要があると感じました。

昨年度から各児童クラブは順次民間委託となっておりますが、今後も当町の子育て環境が改善されるべく議会としてもチェック機能と提言活動を強化していければと考えております。



茂呂 孝志 議員

新体育館等の全体事業費は30億か

村上教務課長

実施設計中であり、答えられない



図 新体育館建設以外の駐車場やグラウンド、周辺道路などの整備、備品購入に必要な事業費は、いくらか。

図 新体育館の維持管理費は、4、5千万円かかると言われており、これまでの2つの体育施設の維持管理費は約900万円である。この差額が使用料に跳ね上がるのではないのか。

農業集落排水事業使用料引き下げは

図 近隣自治体と比較して、上毛町は使用料が高いのではないのか。

子ども医療費助成の拡充は

図 県が子ども医療費を、現行の小学6年生から中学3年生まで拡充することで、町の負担はいくら軽減されるのか。

図 農業集落排水事業は、合併浄化槽5人槽の管理費と比較して、加入世帯が3人以上になると使用料が高くなっているが、使用料を引き下げる考えはないのか。

尾崎課長 加入世帯が3人以上になると使用料が高くなることは認識している。農業集落排水事業は使用料収入だけでは運営できず、一般会計から恒常的に繰り入れており、使用料の引き下げは考えていない。

学校給食費の負担軽減は

図 これまで町は、給食費無償化は事業の継続性と恒久的財源確保が必要であるためできないと言ってきた。現在の町の財政状況から給食費の半額補助程度は可能ではないのか。

村上課長 小中学校合わせて半額補助すると、約1800万円の財源確保が必要になる。現在、町は保護者負担の2割程度を助成している。現時点では半額補助は考えていない。



▲住民145戸が接続している土佐井排水処理センター